

平成29年度

事業計画書

公益財団法人京都技術科学センター

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本の発展に資する科学技術の振興を図るため、大学等に所属する若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成する。

また、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考する。

1 平成29年度研究開発助成金の交付

平成28年度第2回定時理事会で決定する研究開発助成テーマに係る研究開発に必要な経費を研究者に助成する。

- (1) 名 称 平成29年度研究開発助成金
- (2) 助成金総額 1,300万円
- (3) 助成件数 13件

2 平成30年度研究開発助成テーマの募集と選考

平成30年度に助成する研究開発助成テーマを募集し、審査・選考する。

- (1) 募集対象 近畿地方、北陸地方（富山県、石川県、福井県）、中国地方、四国地方の大学（附属研究所を含む。）及び工業高等専門学校並びに公的試験研究機関に所属する若手研究者（40歳未満）。
- (2) 研究分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって次の分野に属するもの 材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 研究期間 1年（平成30年4月から平成31年3月まで）
- (4) 助成限度額 120万円
- (5) 助成総額 1,200万円程度

II 公益目的事業2（人材育成事業）

技術立国日本の発展に資する科学技術の振興と産業の発展を担う人材の育成事業を行う。

1 技術セミナー

ものづくり技術開発の高度化を促進することを目的に、先端技術シーズや研究開発の最前線の状況を紹介するセミナーを開催する。

- (1) 名 称 ものづくり先端技術セミナー
- (2) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- (3) 開催回数 4回
- (4) 対 象 者 関連企業の技術者・研究者
- (5) 募集人員 各回25名
- (6) 受 講 料 無料

2 技術研究会

(1) CAE技術研究会

設計・製造分野においてCAE (Computer Aided Engineering) が普及してきたが、CAEを「ものづくり」の中で適切に活用するためには、まだまだ乗り越えなければならない課題がある。

このような中、CAEの概説から実習、事例研究を通じて、生産プロセス開発に必要なデータの収集及び解析など基礎的な学習を行い、設計者が日常の仕事に活用できる技術を修得することを目的に研究会を開催する。

ア 名称	CAE技術研究会
イ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数	17回
エ 対象者	関連企業の技術者・研究者
オ 募集人員	12名
カ 会費	年額 新規 50,000円/人・継続25,000円/人

(2) 京都品質工学研究会

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要であるが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさない、安定した製品・設計・製造技術を開発することが大きな課題となっている。

このような中、将来起こるかもしれない多くの問題を未然に防止し、安定した設計・製造技術を効率よく開発するための技術的方法論として広く活用されている品質工学を学び、実践し、効率的な技術・製品開発を実現するための技術力を持つ技術者を育成することを目的に研究会を開催する。

ア 名称	京都品質工学研究会
イ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数	7回程度
エ 対象者	関連企業の技術者
オ 募集人員	20社程度
カ 会費	年額 新規20,000円/人・継続15,000円/人

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者の育成を図るため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生、高等専門学校生、大学生及び大学院生を対象に、斬新で独創的なアイデアを募集し、書面審査通過者を対象にコンテストを開催する。

- (1) 名 称 テクノ愛2017
- (2) 主 催 テクノ愛実行委員会
- (3) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都大学産官学連携本部
- (4) 後援(予定) 文部科学省
近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
NHK京都放送局
日本ベンチャー学会
関西ベンチャー学会
- (5) 協賛(予定) 国立研究開発法人科学技術振興機構
大阪大学産学連携本部
神戸大学連携創造本部
京都工芸繊維大学研究戦略推進本部
大阪電気通信大学
関西サイエンス・フォーラム
- (6) 協力(予定) 京都大学生協同組合
- (7) 募集部門 ア 高校の部
イ 大学の部
- (8) 参加資格 ア 高校の部：全国の高校生及び高等専門学校3年生まで
イ 大学の部：全国の大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生
- (9) 開催日 平成29年11月23日(木・祝日)(予定)
- (10) 開催場所 京都大学国際科学イノベーション棟(予定)
- (11) 表彰等 高校の部、大学の部ごとにグランプリ、準グランプリ、優秀賞及び奨励賞を選考し、賞状、表彰楯及び副賞を授与する。
- (12) 参加料 無料

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生を対象に、夏休み期間を利用して、高い技術力を有する企業等を訪問し、研究開発の歩みや経験、将来展望等の講話を聴くとともに、生産工程等を見学することを通じて将来の技術者や研究者の芽を育てることを目的に研修会を開催する。

- (1) 名 称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 後援(予定) 近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会

- (3) 開催時期 平成29年8月上旬
- (4) 訪問先(予定) 株式会社堀場製作所びわこ工場
- (5) 参加資格 近畿地方の中学生・高校生及び教員
- (6) 募集人数 40人
- (7) 参加料 無料

5 おもしろサイエンス

小学生を対象に、冬休みと春休みの期間を利用して、科学実験や工作を体験することを通じて科学への関心や理解を深めることを目的に実験教室を開催する。

- (1) 名称 ① おもしろサイエンス「クリスマスの実験教室」
② おもしろサイエンス「春の実験教室」
- (2) 協力 サイエンスEネット
- (3) 後援(予定) 京都府教育委員会
京都市教育委員会
- (4) 開催時期 ① 平成29年12月下旬
② 平成30年 3月中下旬
- (5) 参加資格 近畿地方の小学生(保護者同伴)
- (6) 募集組数 各回とも40組(小学生40人と保護者)
- (7) 参加料 無料

6 科学技術情報等提供

ホームページを活用して、当センターが実施する事業やイベントの周知、研究開発助成成果報告書の掲載、各種人材育成事業の開催状況等の情報を提供し、利用者やイベント参加者の拡大を図るとともに、科学技術情報を広く発信する。

Ⅲ 収益事業

1 不動産の賃貸

公益目的事業の実施に必要な財源を得るため、本法人が所有する建物・土地を事務室・研究室・倉庫、駐車場等として賃貸するとともに、会議室、ホールを貸し出し、その収益を活用する。

2 その他

本館建物が建築後40数年経過したこともあり、本年度は、受水槽の更新を行うとともに、計画的な設備更新等を実施するための建物・設備診断を行う。